

大阪のインディーズ出版物店シカクのフリーペーパー

シカク月報

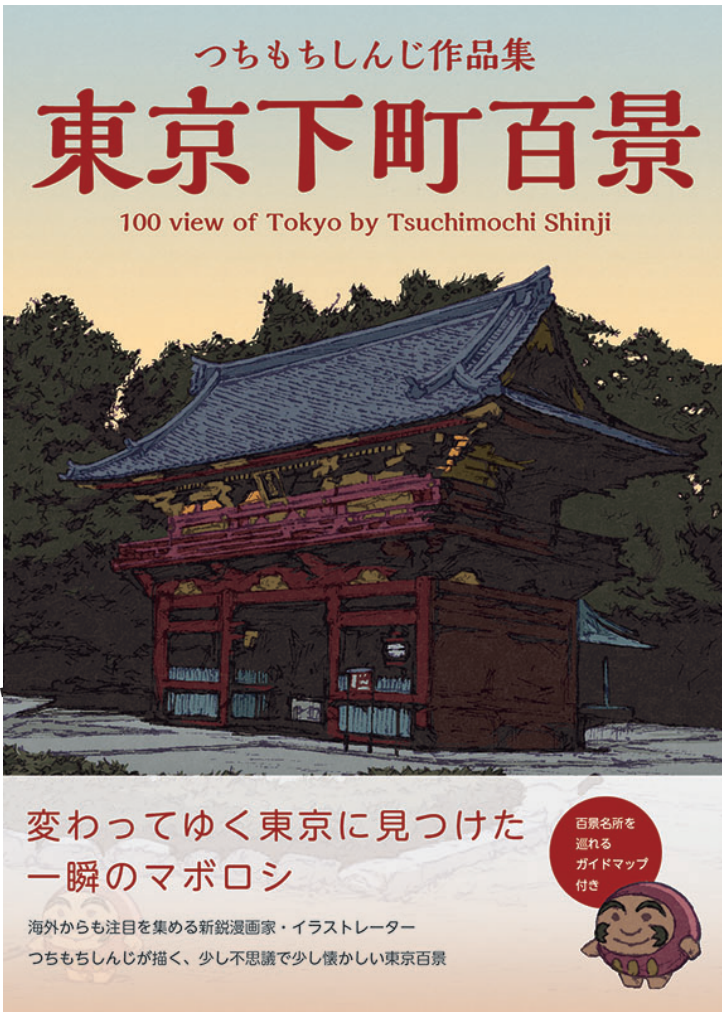
★休刊だよ！！
店長が思いの丈を
たくさん書いてます
スペシャル★



こんにちはシカクです！ お知らせしたい展示やイベント、オススメしたい商品が目白押しな昨今ですが、このフリーペーパーを毎月楽しみにしていただいていますみなさまに真っ先にお知らせすることがあります。簡単に言えば、一身上の都合により、細かく言えばいつも使っている格安のセルフプリントサービスの機械が故障が頻発し、時間的、金銭的あらゆる面でコンスタントに発行することができなくなったため、４０回以上継続してきた本誌を一度休刊しようということになりました。3年以上もの間毎月500部刷って撒くということしようと思ったのは、最初は意地でした。ミニコミ専門店とか言ってるのにフリペの一枚もつくらないなんておかしい、自分の中にある理想のフリペ像を伝えたい。そんな感じでした。もちろん想像を超える手間がかかり、苦しんで発行していた時期もありましたが、「フリペみてお店しりました」とか「楽しみにしてます」という言葉が本当に励みになりました。設置していただいた店舗様はじめ、読者投稿をしてくれた方、広告を出してくれた方、毎回濃密な記事を投稿してくださった執筆陣、そして、手に取って読んでくださっている皆様には本当に感謝の思いでいっぱいです。休刊にするのは本当に最後の最後までスタッフで議論し身を切る思いで決断しましたが、いつかもうちょっとだけお店に余裕ができれば復活させますのでそれまで皆様しばしおまちください！今後ともシカク店舗とオンラインショップよろしくね！

告知の園

シカクで開催されるイベントや、出張店舗で参加するイベントのお知らせです。



つちもちしんじ作品集 **東京下町百景**

A5サイズ／132ページ／定価1500円＋税
2016年11月3日発売／日英バイリンガル表記

イラストレーター・つちもちしんじが WEB サイト「おとなの週末 .com」への連載としてスタートした連作が「東京下町百景」です。連載終了後も一景ずつ着実に描き続けられ、Twitter や Tumblr で拡散されていくにつれて国内外から大きな反響を受けるようになりました。歌川広重の「名所江 戸百景」に着想を得た本シリーズは、浮世絵的な画法につちもちしんじの持ち味であるファンタスティックな風合いがプラスされ、独特の作品となっています。2016 年、ついに 100 景が描き切られ、シカク出版より待望の書籍化が決定。「東京下町百景」を完全収録した本書では、ひとつひとつの景色を描くにあたって、その都度新しいタッチで景色を切り取ろうと試みてきたつちもちしんじの画風の変遷も見えてとることができます。東京タワー、浅草雷門、上野アメ横、神田神保町、矢切の渡し…つちもちしんじが描き出す東京は、それが見慣れた景色であれ、歩いたことのない片隅の風景であれ、同じように新鮮に目にうつります。

★詳細・中の絵は特設サイトでチェック！★
<http://uguilab.com/publish/2016100views/>

シカクのイベント

「東京下町百景」発売記念原画展

11月3日～20日 14時～20時（火水定休日）

「東京下町百景」の発売を記念して、つちもちしんじ初の大阪原画展をギャラリー・インディーズ出版物のお店「シカク」で開催します。大阪の下町を描いた「大阪下町五景」の原画も初公開。原画ならではの百景の魅力をぜひ確かめて来てください。

【特設サイト】<http://uguilab.com/publish/2016100views/>



！！！！重大告知！！！！

シカク出版の本が 全国の書店で買えるようになります！

同人誌を売るお店として、同人誌つくらないとダメだろうと思って始めたレーベルだし、そんなに手広く売るつもりはなかったんですが、何冊か出すうちに、全国から問い合わせがくるようになって「オンラインで買ってくれよ」って思いながら、中にはネットできないお年寄りとかが意外に興味持ってくれたりというより、世の中は今でもネットが浸透しきっている訳ではなく、テレビと新聞とラジオ、地元書店で完結している層と地域があるんだなと思いました。だから試験的に取次と契約してバーコードつけて大手出版社と同じステージに立ってみようと思いました。大手に勤めてる人で、今の流通制度が悪習で出版業界の足枷になっている。取次を使わず置きたい本を出版社と直接取引するほうがこれからはいいみたいな意見を言ってくれる人がいて、それはそれで、シカクがやってるようなことを肯定してくれて嬉しいけどメジャーの世界も一度は知っておきたいなってやっぱり思ったよ。みんな応援してください。

感動の最終回！ ＊＊ てんちょうの ＊＊

ファンシー＊＊コラム

【印刷室はダンスホールだった】

僕のやっているお店シカクは毎月、シカク月報という名のフリーペーパーを出している。しかし今回の45号をもって休刊することにした。

僕は本当に適当に思うがままに、マイペースにしちかお店をやれないし、何事もそんな感じだ。疲れたら休む。疲れるからやらない。気が向いたらする。そんな感じ。だけど月報だけは、寄稿してくれているみんなの力とか読んでいる人の感想とかのおかげで、ずっと毎月作ってこれた。

正直なところフリーペーパーを作るのは大変で、お金もかかるし、馴れてきても、データを作って、印刷所に行って刷るというのは大変なことだった。印刷費を安くあげる為に生涯学習センターという公の印刷ルームを使うんだけど、そこは自転車で人ごみの中をたらたら走って20分強。冬でも汗ばむし、真夏は背中が汗でぐっしょりする。荷物はまっさらなA3コピー用紙をネットで安く買って持って行く。重い。重いし一人だと心が折れるので、印刷にはいつも副店長のたけしげと二人で行っていた。

印刷に使うのはリソグラフという印刷機だ。最初に一枚刷って、ちゃんとかすれなく出ているかを確認したら一気に500枚刷る。一気に機械がやってくれるから楽なもんだ。機械は小気味良く「ガタッ、ツツツ、ガタッ、ツツツ…」と規則的なビートを鳴らし、僕は手持ち無沙汰になる。

そしていつからか忘れたけど、この音に合わせて二人で、受付の人にばれないように変な踊りを見せ合うのが面白かった。今日ラストの前号を一人で刷りに行って、その音を聴いていたら大変だったこととか辛かったこととか、が走馬灯のように頭を巡って、辞めてみることにしたけど、本当に悔しいし苦しい決断だし、続けて来たことを自分で終わらすこの悲しみってこんなに心の奥が焼かれるような感じだった。って思った。またどこかの輪転機に携わることがあれば、出力される音に合わせてみんなで楽しく踊りたいな。

シカクでは「一般の店にないテーマや思想を扱った本」「一般受けはしないが非凡なもの」「唯一無二で判断に困るもの」などを中心に、委託販売する作品を常時募集しています。取扱アイテムは本・CD・DVD・ゲームなどがメインです。ジャンル・内容・言語などは一切問いません。(雑貨・小物類は現在委託を受け付けておりませんのでご了承ください)

納品の前に簡単に審査をするので、作品の全部または一部のデータをメールでお送りください。明確な審査基準はありませんが、上手下手ではなく「シカクの方向性に合っているか」「売りたいと思える商品か」などを審査する感じです。

委託の条件などはホームページ(シカクで検索すると出てくるよ)をご確認ください。

発行:シカク 編集:ピーコ、たけしげみゆき
住所:大阪市北区中津3-17-12
中津商店街の真ん中らへん
時間:午後2時～8時ごろまで(火水定休日)
電話:06-6225-7889
メール:shikaku@uguilab.com
HP : <http://uguilab.com/shikakutop.htm>



しらきたかね

天満でたこ焼き屋を営む。また、無類のジャズ好きが高じて、新進気鋭の音楽ライターとしても多方面で活動している。関西ジャズ無料情報誌『WAY OUT WEST』でトラッド・ジャズに関するコラムを絶賛連載中。座右の銘は創造と啓蒙。

朝しか歯を磨かない系旦那と、他人のことはつべこべ言わない系嫁からなる、加古川の夫婦フォークユニット。「播州スラッジフォーク」と銘打ってブログと路上呑みの明け暮れ。自宅の洗面所で録音した29曲入りのCDRがAERAいう雑誌で紹介されて喜んでいるフォークです。実家の両親に軽四を買ってもらいました。

シカクの書籍担当・副店主。生きていくためにデザインの仕事をしたりもしている。近頃は、近頃チモという名前で漫画や絵を描いているので、興味があったら調べてみてね。

シカク店長。たまに音楽をやったりも
してます。なんとか廃人にならず、マイ
ンクラフトを卒業することに成功。

G-Shelter(ライブハウス)

■どこも个性的で面白いお店ばかりだよ。ぜひ遊びに行ってみてね！

カニコーセンの 中津の思い出

シカクのご夫妻もこんな気持ちで毎月輪転機回して、紙を折るまでコピー、捺印を繰り返して、一体何の為に自分達はこんなにもインクで手を汚さなくちゃいけないのか、かつては80円だったヤマトのメール便も164円に値上がりし、大阪市から助成金が出るわけじゃない、ライオンズクラブから募金もない、カンコーセンは文句云うし、今日もおかすは切り干し大根だか、まあ仕方がないか、...だったと思います。

シカクご夫妻どうもありがとうございました。



なんのために言葉はあるの
空を見て駆けだしたくなるためのだよ

（奈良絵里子）

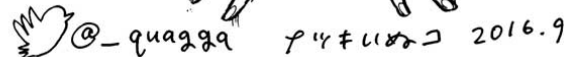
短歌は、日常の些細なできごとや、考えたことを少しの言葉の重なりで表すことができるはずで、本当に短歌だけで表現できていたら短文はいらないのかも。しれない。でもわたしは、補足するためでなく、短文を抛り所に短歌を作れる気がして、こんな連載を持たせてもらってました。短歌は、57577の音だけ合わせればいいので、記録したいけどカメラがないようなときに作ってみてください。これまで読んでくださってありがとうございます。

これからはこちらでよろしくね

シカク店長の巴くんとぼぼ交互に書いてるnote「うだうだとぐだぐだ」
note.mu/memoria10

[twitter](#) [fukiteasobiki](#)

ありがとうございました
ました〜♡♡



シカクオンラインショップのメルマガは
終わらないよ!購読してね!

シカクに入荷した商品の最新情報やじんわりくるコラムなどを隔週金曜でお届けする、シカクオンラインショップメルマガの購読いつでも募集中！編集長は3月からシカクのCD・音楽担当を任命されたほか、フリーライター、バンドマン、酒飲みなど様々な肩書きを持つスズキナオさん。今すぐ登録してサブカルなのになんかゆるい絶妙な空気を吸収し、荒んだ心を癒そう！

- ①シカクオンラインショップにアクセス(検索してね)
- ②ページ上部のメニューから「メールマガジン」を選ぶ
- ③メールアドレスを入力して「登録」を押す
- ④金曜まで待つ

よろしくね!



 fin...
 @toumin_boy